

☆母と同居し二人の大学生を抱え、経済的な面からも共働きを始めました。今では夫と話し合いながら、家事はできる時にできるほうがするようになりました。(女性)

☆妻に先立たれた一人暮らしの兄が、遊びに行ったらお茶を入れてくれる。男女共同参画は自分のためのことだと言っている。(女性)



キラキラ宇宙人

地球の弱点をすでに見透かしているとは、あなたはまさに時代の先駆者。

☆「男は厨房に入るな」と教育されてきたが、今の私は妻に先立たれたら食事もできない。男女共同参画は若い人だけのものではなく、年寄りにも大切である。(男性)

☆家事は、夫、子供を含めて全員で行っている。遊びに来た人が、「ぐらしか、父ちゃんを楽にさせんね」と言っていたが、その人もこっそり家ではしているようだ。(女性)

☆男だから、女だからと可能性が半分になるのは、とにかくもったいない。(男性)

The Way to "Triangle Utopia"

～素晴らしい男女共同参画社会への道～



☆男性の意識改革と、女性が社会にもっと進出して、責任感を持って自己研修、開発を行っていただきたい。(男性)

☆奥さんが看護師の共働き家庭で、保育園の子どもが熱を出したとき、奥さんがどうしても早退できなかったのでご主人に頼まれた。そのご主人は会社から「ないよ男の癖に。それは母親の仕事じゃないか」と言われたそうである。まだ、会社側の受け入れ態勢はそんなもので、もっと企業にも啓発を行って欲しい。(女性)

☆PTAや公民会長など、女性のほうから手を上げる人はなかなかいない。(男性)

☆『男は仕事、女は家庭を守れ』と言われるが、仕事をしたいと望んでいる。しかし、低給料のパートしかないのが現状である。(女性)

☆会合時に発言したことがあったが「あそこは母ちゃん強い」とか「奥さんにふりまわされている」などの噂が立ち、主人のことを考えると言いたいことも言えなくなった。(女性)

シッカリ地球人

ナンカヘン？と気づき始めたあなた。これをきっかけに『自分らしく生きる』ってどんなことがじっくり考えてみてください。

☆国技の相撲界も女性を土俵に上げないし、皇室も男性だけが継ぐ。国の中心がそういった状態である。(男性)

☆夫は、家事育児を労働とは思っていない。(女性)

☆ジェンダーの意味は何ですか。(男性)

☆レントゲン検診。男女入れ混ざって行うのか。(男性)

☆女性は長生きだから、それだけでいいではないか。『雌鳥が鳴くようであればこの世はおしまい』という言葉もある。(男性)



チョッピリ古代人

このままでは置いていかれるかも…。

☆旧川内市における男女共同参画出前講座やフォーラムからの意見です。

この情報誌に関するご意見、ご感想、取り上げて欲しいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

編集 男女共同参画情報誌「とらいあんぐる」編集委員

発行 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号 薩摩川内市役所 企画政策部 コミュニティ課 男女共同参画グループ
TEL 23-5111 (内線4613) FAX 20-5570 Eメール: sho-gender@city.satsumasendai.lg.jp